

令和2年10月8日市長臨時記者会見

市長説明

本日、さいたま市職員がPCR検査を行った結果、陽性と判明し、新型コロナウイルスに感染していることが確認されましたので報告します。

当該職員は、西区役所くらし応援室に勤務する50代の男性職員です。

判明までの経緯ですが、10月5日(月)から発熱の症状が継続していたため、10月7日(水)にPCR検査を実施したところ、本日、陽性と判定されたものです。当該職員は現在も発熱の症状が継続しており、本日から入院の予定です。

感染経路は、当該職員の周辺者には感染者や濃厚接触者もないことから、不明です。また、症状が出る前の私的な外出はしておらず、職場と自宅との往復のみと聞いています。

当該職員の業務は、窓口相談業務等ですが、発熱の症状が出現した5日(月)の窓口対応等はなく、市民との接触はありませんでした。また、6日(火)以降、及び発症前2日間も出勤しておりません。

また、勤務中は、常時マスクを使用し、窓口には飛沫飛散予防ビニールシートを設置するなどの必要な感染防止対策を行っていました。

当該職員が在籍する所属の職員については、現在のところ発熱等の症状はありませんが、濃厚接触が疑われる職員2名については自宅待機としました。

本市では、これまで、発熱等の風邪症状が見られる職員については出勤しないよう通知しているほか、業務中のマスク着用や飛沫感染予防シートの設置、また、時間的・空間的に職員の接触機会の低減を図るなどの感染症対策を講じてきたところです。

この度、職員の感染がありましたが、引き続き、職員に対し、感染

防止対策の周知徹底を図ってまいります。